平成29年度 鳥取県教育委員会の主な取組

鳥取県教育委員会では関係機関等と連携しながら、子どもたちとともに「鳥取県の人づくり」にチャレンジし続けます。皆様のご理解とご協力をお願いします。

鳥取県教育の基本理念

自立して心豊かに生きる未来を創造する鳥取県の人づくり

- 自立して生きる力
- 豊かな心と健やかな体
- 社会の中で支え合う力
- ふるさと鳥取県に誇りを持ち、未来を創造する力

目標1 社会全体で学び続ける環境づくり

コミュニティ・スクール導入促進事業
～地域とともにある学校づくりをめざして～

地域とともにある学校づくりをめざして、学校・家庭・地域が一体となったよりよい教育の実現に向けて、コミュニティ・スクールの導入促進や取組充実等を行う市町村を支援します。

*「コミュニティ・スクール」とは…本誌P4を御覧ください。

具体的な内容
- 導入促進に向けた体制づくりや取組充実
- 地域と学校をつなぐ核となる社会教育主事の資格取得をめざす教職員に対し、夏休み中に県外の大学で開催される社会教育主事養成講座受講の経費を負担
- 「鳥取県コミュニティ・スクール推進研修会」の開催（県外・県内の先進事例等を紹介）

問合せ先　県教育委員会小中学校課
【電話】0857-26-7521　【FAX】0857-26-8170

目標2 学ぶ意欲を高める学校教育の推進

学力向上を支える基盤づくり支援事業

全国学力・学習状況調査結果の分析を踏まえ、すべての児童生徒に確かな学力を育むため、学力向上を支える基盤となる望ましい学習習慣や学習規律の確立、基礎・基本を確実に定着させるための指導方法や指導体制の充実を図ります。

冊子「学力向上を支える基盤づくり」（仮称）の作成・配布

基盤づくりのポイントや具体的な事例等を紹介した冊子を作成し、県内の小・中・特別支援学校の全教員に配布し、共通実践化できるよう支援します。

とりっこドリル基礎編の活用促進

国語、算数・数学における基礎的・基本的な知識や技能の定着度の把握と学習習慣の確立に向け、リーフレットを作成し、とりっこドリルの有効的活用を図ります。

プログラミング教育実施支援事業

次期学習指導要領の全面実施に伴い、平成32年度に小学校段階におけるプログラミング教育の導入が始まり、平成33年度には中学校技術・家庭科（技術分野）におけるプログラミング教育に関する内容が倍増となります。県教育委員会では、教員に対してプログラミング教育の研修会や実際に体験できる場を提供し、県内の教員への理解を図ります。

問合せ先　県教育委員会小中学校課　【電話】0857-26-7935　【FAX】0857-26-8170

小学校英語パワーアップ事業

平成30年度からの小学校英語教育の拡充に対応するために、県内5つの事業校に英語指導助手（ALT）を配置して、児童の英語力や教員の指導力の「パワーアップ」を図り、その成果を全県に還元します。

【小学校英語教育の拡充】

〔現行〕・小学校5・6年生で、それぞれ年間35単位時間の「外国語活動」

〔平成30年度から先行実施可能〕
- 小学校3・4年生で、それぞれ年間35単位時間の「外国語活動」
- 小学校5・6年生で、それぞれ年間70単位時間の「外国語（英語）」

【5つの事業校】
- 鳥取市立福部未来学園小学校
- 鳥取市立青谷小学校
- 倉吉市立西郷小学校
- 倉吉市立小鴨小学校
- 境港市立外江小学校

【事業校の取組】
- 時間増に対応する時間割編成案や指導計画等を作成して、先行事例を示す。
- 授業に加えて、ALTによる絵本の読み聞かせや学校行事でのふれあい等を通して、日常的に英語を使用する機会を増やす。
- 放課後や空き時間等を活用して、授業の打合せや校内研修会などを行い、教員の指導力向上を図る。

問合せ先　県教育委員会高等学校課　英語教育推進室
【電話】0857-26-7959　【FAX】0857-26-0408

とっとり農林水産人材育成システム推進事業（県版SPH事業）

農林水産業に関連する専門学科を設置している高校において、地域の産業界や教育機関等と連携し、社会で求められる多様な知識・技術や、専門的な資質・能力を生徒が習得し、6次産業化など地域産業の担い手としての意識や自覚を育みながら地域に貢献する人材として成長できる教育プログラムづくりを進めています。

*SPH…スーパー・プロフェッショナル・ハイスクール

農業分野 倉吉農業高等学校
地域農家や関係機関と緊密に連携し、卓越した農業の実践力を有し、農業を担うプロフェッショナル人材を育成します。

林業分野 智頭農林高等学校
長期就業体験（デュアルシステム）の導入と実践など、地域と密接に連携し、中山間地域の林業等の地域産業を担うプロフェッショナル人材を育成します。

水産分野 境港総合技術高等学校
学校に設置した5学科が連携して、水産関連業界を主とした、地域と連携した事業に取り組み、各学科の生徒が有する資質・能力を互いに習得し合うことにより、社会で求められる多様な知識・技術を育みます。

問合せ先　県教育委員会高等学校課
【電話】0857-26-7916　【FAX】0857-26-0408

目標3 学校を支える教育環境の充実

学校避難所環境整備事業

熊本地震を踏まえた文部科学省の緊急提言や鳥取県中部地震の検証において、学校避難所に対して、トイレの洋式化・多目的化、Wi-Fi環境の整備等が求められています。

そこで、避難所に指定されている県立学校及び公立小中学校の体育館について、トイレの洋式化・多目的化、Wi-Fi環境の整備等を推進していきます。

県立学校では、体育館の多目的トイレ整備、Wi-Fiやテレビが視聴できる環境整備等を行います。

公立小中学校では、緊急防災・減災事業債を活用し体育館のトイレの洋式化・多目的化、Wi-Fi環境整備等を実施する市町村に対する補助制度を新設しました。

問合せ先　県教育委員会教育環境課
【電話】0857-26-7913　【FAX】0857-26-8195

安心・安全な学級づくりプロジェクト事業

小学校の不登校出現率は全国平均より高い状態が続き、中学校においても近年は増加傾向が続いています。また、いじめや問題行動など学校不適応に関する課題も増えてきています。そこで、脳科学や精神医学、また心理学などの理論に裏付けされた「子どもの心の発達」の視点に立った実践を進めることで学校不適応の未然防止をめざします。

まず、県内の3中学校区でモデル実施した後、不登校やいじめに対する未然防止の効果的な取組方法を全県に広げます。

問合せ先　県教育委員会いじめ・不登校総合対策センター
【電話】0857-28-2362　【FAX】0857-31-3958

不登校生徒等訪問支援、居場所づくり事業

高校生の不登校（傾向）やひきこもりが心配される生徒・青少年を、学校復帰や社会参加に向けて支援するハートフルスペース（教育支援センター）を、現在ある東部に加えて、中・西部地区にも設置します。

いろいろな活動（体験活動、学習支援など）を提供し、相談者をサポートするとともに、訪問型支援などにも力を入れていきます。

中・西部地区の施設は秋以降に完成の予定です。電話での相談はお受けしています。まずは、下記までお問い合わせください。

問合せ先　県教育委員会いじめ・不登校総合対策センター　【電話】0857-28-2322　【FAX】0857-31-3958

高校における特別支援教育充実事業

これからの社会を担う生徒たちが共生社会をつくりあげる素地とし、「生徒一人一人の能力や可能性を最大限に伸ばす」、「自己理解・他者理解を深め、共生の心を育む」、「個別の教育支援計画及び個別の指導計画の活用」、「障がいのある生徒の自立や社会参加の推進」を目指して、高校における特別支援教育の充実を図ります。

就労・就労支援
- ▷障害者職業センター
- ▷障害者就業・生活支援センター
- ▷ハローワーク
- ▷地域若者サポートステーション　など

関係機関等（医療・労働等）

教育行政

生徒支援有識者
- ▷大学教員
- ▷SSW
- ▷SC
- ▷LD等専門員
- ▷特別支援教育支援員
- ▷中学校　など

アプローチ校 20校 ⇔ **モデル校 4校**

特別支援教育担当者（取組例）
- ▷自立活動の支援
- ▷基礎学力定着の支援
- ▷社会的スキル定着の支援
- ▷生徒対象の講演・研修
- ▷実態把握のための検査　など

発達障がい教育拠点（特別支援学校）

特別支援学校

特別支援コーディネーター
- ▷「高校における通級による指導」の調査・研究　など

特別支援教育コーディネーター 高校教育担当者
- ▷センター的機能

問合せ先　県教育委員会高等学校課　【電話】0857-26-7917　【FAX】0857-26-0408

目標4 生涯にわたって運動、スポーツに親しむ環境づくり

高等学校部活動指導員を配置します

県教育委員会は、運動部活動外部指導者活用事業を実施し、運動部活動の活性化及び指導体制の整備を図ってきました。

本年度、部活動の指導体制の一層の充実を目指し、県立高等学校運動部に部活動指導員をモデル的に配置します。部活動指導員は単独指導を行うことができるため、生徒はこれまで顧問が不在の時にはできなかった専門的な練習ができるようになり、質の高い練習時間が増えるなどの効果が期待されます。

問合せ先
県教育委員会体育保健課
【電話】0857-26-7922　【FAX】0857-26-7542

目標5 文化、伝統の継承、創造、再発見

新しい鳥取県立美術館の整備を進めます

県教育委員会では、未来を担う子どもたちが優れたアートと出会い、想像力や創造性を育むことができる新しい美術館の整備を進めていくこととしています。その美術館では、鳥取県ゆかりの作家や国内外の有名作家の作品の展覧会のほか、漫画アニメに関する展覧会なども開催するとともに、美術に関する様々なワークショップや体験教室などを実施し、小学校の1学年全員に年に1回は美術館を訪れてもらうような取組も進めます。

また、美術館の学芸員が学校や公民館等に出かけて行って美術作品の解説をしたり、ワークショップを実施したりして、各学校の児童・生徒や遠くまで出かけるのが難しい住民の皆さんが身近な場所でアートと触れ合えるようにします。美術を通じた学びの方法の研究等を行う「美術ラーニングセンター」的な機能も持たせ、学校との連携も強化していきます。

そうした活動を展開する美術館が県民の皆さんに「私たちの県民立美術館」だと思ってもらえる施設となるよう、今年度は県民フォーラムやミュージアムサロン等を開催して皆さんと意見交換しながら、美術館整備の計画づくりを進めていきます。

問合せ先　鳥取県立博物館 美術館整備準備室　【電話】0857-26-8042　【FAX】0857-26-8041

青谷横木遺跡「女子群像」板絵情報発信事業

鳥取西道路の整備が進められている鳥取市青谷町「青谷横木遺跡」で発掘された古代の木板に、複数の人物が描かれていることが、昨年発見されました。

これまでの調査の結果、この絵は6名の女性が並んで歩く姿で、国内では国宝「高松塚古墳壁画」に続いて2例目となる非常に貴重な発見であることがわかりました。

海外では、朝鮮半島や中国大陸で図柄の似た壁画が見つかっており、当時の鳥取県は、都のあった奈良県や、さらには東アジアの国々と密接な関係があったことも考えられます。

この貴重な発見を皆さんに広く知っていただく機会として、9月にとりぎん文化会館でシンポジウムを開催します。

詳細が決まりましたら、あらためて御案内しますので、ぜひお越しいただき、鳥取県の歴史ロマンを感じてください。

問合せ先　県教育委員会文化財課　【電話】0857-26-7934　【FAX】0857-26-8128